

# 中部日本ニュース

シネスコ版

高知新聞コース 251.  
新築新聞コース 179.  
中国新聞コース 192.  
大平ムードで 1250円  
酒原先生 一巻

38.12.6

No. 5 1 6

## 一、義宮さま二十八回目の誕生日

十一月二十八日、満二十八才の誕生日をお迎えになった義宮さま。東京渋谷の新居にうつられて一家のご主人ぶりもすっかり板につかれたご様子です。  
ご婚約問題は、いろいろ相談はするが、最終的には私自身が決めますとのこと、また科学者としてガンの研究に一生をささげたいと熱意のほどを語っておられました。

## 一、歳末防火作戦

—東京・名古屋

歳末火災シーズンをむかえ消防署は防火の演習にPRにと大わらわです。火災予防週間の最終日の十二月二日、東京のあるホテルで本番さながらの防火演習が行なわれました。ホテル全館に非常ベルがなりひびき、消火器を持ったボーイさんたちが出火現場にかけつけ、いっせいに放水。本職の消防署員にまけぬホテルの自衛消防隊の活躍でした。

一方名古屋では取りこわされるビルに火を放って、ビル火災を科学的に解明しようという。火災実験と消防訓練が行なわれました。

名古屋消防局、大学関係者、警察関係者など二百人が参加し、ハンゴ車、放水塔車など、二十四台が出動するという大がかりなものでした。この実験の各種のデータは、ビル火災の予防と消火技術などの資料となります。特に都会生活において火を治めてこそ庶民の生活の幸福があるといえましょう。

## アイモ風土記

### 一、越中五箇山

—富山県平村

富山県の最南端、岐阜県境に近い一帯。奥深い山々に囲まれた五箇山地方は、庄川の上流に点在する静かな村落。平家の落人が逃げのびて安住したとの伝説をもつ古い歴史の村でもある。

この隔絶された孤立性の強よい環境から生れた生活の感覚は、六五〇年前の火だねを絶やすことなく、「不滅の火」として守っている一老婆の話にもあらわれている。

このような環境は哀調をおびた民謡を生んだ。そして、民謡の豊庫としての名を全国に拡げた。だが五箇山の歴史も、めざましい資本の進出によって大きく変貌した。近代科学の技術は庄川峡に十二ヶ所のダムを完成させ、この電源開発によって現代の文化は奥深い五箇山に浸透し古い歴史の大家族制度は崩壊の一途をたどった。

若者たちは、何の未練もなく、故郷を捨て、都会に流出。

大家族制度の崩壊がもたらした孤独な老人たちの生活は、一層厳しくなり、今では合掌づくりに一人で生活している老人が五人になった。見かねた福祉事務所のケースワーカーたちは、その対策に乗り出し老人ホームの収容を説得したが、それも年老いた彼らには、新しい社会への不安としか写らなかつたよう

だ。都落した祖先の宿命は再び大家族制度崩壊のあとに厳しい現実となってクローズアップされてきたのである。

6280円

2680円

1950円

650円